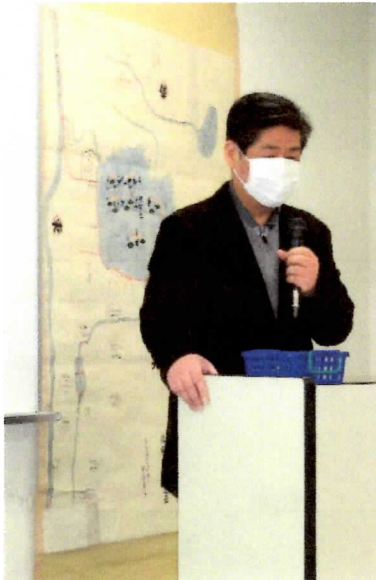


寺田家所蔵「依網池大和川池中貫通見取図」
(1704)



寺田家所蔵 依網池往古之図 大和川つけかえまへの図を 1824 年に写したもの。ハスが咲き、北側に新田がつくられ始めている。

寺



←寺田さんと ↑「おもしろかったわあ」「すごい地域やったんやね」・・・など、参加のみなさん。

大和川の南北で、今後も交流と協力、情報交換していきましょう

「寺田さまのご講演により、庭井新田とその周辺の状況が理解でき、また自らじっくり五箇荘地域を考えるきっかけにもなりました。本日の内容について、高岡をはじめ歴史資料館のスタッフと共有し、刊行予定の柏元家文書目録に活かしたいと思えます。またこうした会に顔を出させていただきたく存じますので、お声がけください。今後ともよろしくお願ひ申し上げます。」(柏原市立歴史資料館にある、^{よきみいけ}依網池南部堺市常磐町にあった庭井新田を所有していた柏原の柏元氏の文書を研究されている三原大史さんから).....など、うれしい感想や、今後への期待が寄せられています。



北八下の探訪マップができました！

2018年12月の北区歴史カフェ「北八下の歴史」がきっかけで生まれたグループと北八下校区まちづくり協議会によって、2020年3月「ふるさと北八下の歴史探訪マップ」が完成しました。

今後も、五箇荘・金岡・百舌鳥・北八下の各地域の歴史をテーマに市民の交流カフェをすすめていきましょう。